

## 新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する緊急アンケート結果その2（長野県分）

2020/07/28

長野県保険医協会

### 実施期間

2020年6月24日～7月1日

### 実施方法

ファックス登録のある開業医会員にファックス送信

### 回収率

(医科)

送付数	470
回収率	27.4%

(歯科)

送付数	434
回収率	16.1%

### 1、外来患者数（今年5月診療分と前年5月診療分との比較）

#### (1) 患者数の増減

(医科)

変化なし	12	9.3%
増えた	6	4.7%
減った	105	81.4%
無回答	6	4.7%

合計 129

(歯科)

変化なし	3	4.3%
増えた	3	4.3%
減った	62	88.6%
無回答	2	2.9%

合計 70

#### (2) 患者の減少割合

(医科)

～10%	18	17.1%
～20%	37	35.2%
～30%	31	29.5%
～50%	17	16.2%
～70%	0	0.0%
無回答	2	1.9%
	105	

(歯科)

～10%	5	8.9%
～20%	19	33.9%
～30%	20	35.7%
～50%	7	12.5%
～70%	2	3.6%
無回答	3	5.4%
	56	

- ・医科では、81.4%、歯科では、88.6%の医療機関が減ったと回答、4月診療分の医科86.1%、歯科92.5%からいずれもやや改善したが、なおその割合は高い。
- ・患者が減少したと回答した医療機関のうち、2割超の患者数減少との回答が医科で45.7%、歯科では51.8%に上る。特に歯科では患者数が半減以上との回答も少なくない。

## 2、保険診療（今年5月診療分と前年5月診療分との比較）

### (1) 保険診療収入の増減

（医科）

変化なし	13	10.1%
増えた	5	3.9%
減った	103	79.8%
無回答	8	6.2%
合計	129	

（歯科）

変化なし	8	11.4%
増えた	4	5.7%
減った	56	80.0%
無回答	2	2.9%
合計	70	

### (2) 保険診療収入の減少割合

（医科）

～10%	21	20.4%
～20%	30	29.1%
～30%	26	25.2%
～50%	20	19.4%
～70%	1	1.0%
無回答	5	4.9%
	103	

（歯科）

～10%	11	19.6%
～20%	17	30.4%
～30%	18	32.1%
～50%	6	10.7%
～70%	2	3.6%
無回答	2	3.6%
	56	

- ・ 医科では、79.8%、歯科では、80.0%とともに8割の医療機関で保険診療収入が減少と回答、4月診療分の医科86.1%、歯科81.3%から医科で改善したが、なおその割合は高い。
- ・ 保険診療収入が減少したと回答した医療機関のうち、2割超の収入減との回答が医科で45.6%、歯科では46.4%と4割を超える。3割を超える収入減との回答が医科では20.4%（前回調査25.4%）、歯科では14.3%（前回調査27.2%）。

## 3、雇用調整助成金

（医科）

a. 活用中/申請中	11	8.5%
b. 検討中	8	6.2%
c. 使わない	77	59.7%
d. 制度をよく知らない	8	6.2%
e. その他	1	0.8%
無回答	24	18.6%
合計	129	

（歯科）

a. 活用中/申請中	6	8.6%
b. 検討中	5	7.1%
c. 使わない	33	47.1%
d. 制度をよく知らない	8	11.4%
e. その他	1	1.4%
無回答	17	24.3%
合計	70	

- ・ 申請中を含め、制度を活用している医療機関は医科、歯科ともに1割に満たない。

#### 4、持続化給付金

(医科)

a. 活用中/申請中	2	1.6%
b. 検討中	7	5.5%
c. 使わない	82	64.6%
d. 制度をよく知らない	9	7.1%
e. その他	4	3.1%
無回答	23	18.1%
合計	127	

(歯科)

a. 活用中/申請中	3	4.3%
b. 検討中	7	10.1%
c. 使わない	30	43.5%
d. 制度をよく知らない	10	14.5%
e. その他	1	1.4%
無回答	18	26.1%
合計	69	

- ・前年からの収入減が 50%以上とする基準のため、申請中を含め制度を活用している医療機関は医科、歯科ともに数件しかない。

#### 5、融資等

(医科)

a. 活用中/申請中	12	9.5%
b. 検討中	12	9.5%
c. 使わない	66	52.4%
d. 制度をよく知らない	13	10.3%
e. その他	2	1.6%
無回答	21	16.7%
合計	126	

(歯科)

a. 活用中/申請中	13	18.6%
b. 検討中	8	11.4%
c. 使わない	26	37.1%
d. 制度をよく知らない	6	8.6%
e. その他	0	0.0%
無回答	17	24.3%
合計	70	

- ・雇用調整助成金や持続化給付金と比較して制度は活用されているが、医科では1割に満たない。歯科では18.6%と2割弱の医療機関で活用している。

#### 6、自由意見

(医科)

1. 預貯金を取り崩して何とか凌いだけども、あと2~3ヶ月しかもたないです。その後は廃業・生活保護となりそうです。
2. 当地区でも医師会のコロナウイルス PCR 検査の健診センターが設立される予定である。PCRの偽陰性率は3%ほどであるが、誤って陰性と判定されたコロナウイルス感染者が、今度は我々開業医のところへ陰性の判定を得て受診してくることが怖い。検査の精度を何としても上げる必要がある。
3. 当院の地域で感染患者は出ていないので影響は少ないが、今後楽観できない。
4. 冬場のインフルエンザ流行期、コロナ感染にどう対応するか悩みです。隔離したスペースを作ること、どう検査するか(コロナ、インフルエンザどちらから検査)悩みです。

5. 地域のコロナウイルス感染症へ対する対策が進んでいない。更に医師会の中での話し合いが全くない状況が続いている。
6. 神経質になっている。
7. 新型コロナウイルス陽性の患者が当クリニック受診し、後日保健所から「陽性」との連絡があった。院内消毒に38万円の費用が発生したが、行政や医師会からの助成は全くなかった。
8. 手指消毒薬など十分に補充できない。今後冬に向かって風邪、インフルエンザの患者さんが増えた時の対応が心配です。
9. 昨年5月と比べて保険診療収入が 46%減少しました。50%にあと少し届きませんでした。それでも給付金が無いと厳しいです。
10. 今後、インフルエンザ流行期になった時、コロナ感染の可能性が伴うためインフルエンザ迅速検査もできなくなると思います。当院で検査できない場合、実際の対応をどうするか、非常に悩んでいます。
11. 今のところ特に問題ありません。インフルエンザ流行時の対策を考慮中です。
12. 経営への不安でうつ状態に近い自覚があります。借金等の問題がないなら、気分的には閉院したい。
13. 近隣でコロナの感染者が1人発覚した後、2日ほどぴたりと患者さんが来なくなりました。
14. 間違った風評が多かった。今も多少あり。
15. 感染防止対策への経費大
16. 感染対策のための経費の増大、手間の増加がある。相変わらずマスクとエタノールは入手困難。
17. 感染対策に対する補助を幅広く行って頂きたい。
18. 感染症対策がいつまで続くのか、先が見えないことへの不安は誰しも同じです。
19. 感染の第2波への対策、インフルエンザなどが流行する冬場でも発熱患者への対応について。
20. 感染(スタッフ含めて)による休診は心配。
21. 開業2年目のため、持続化給付金の条件に合わせると1年1ヶ月未満でもないので、給付金を受け取る為の減収に当てはまらず(昨年度は開業したてで比較する収入がもともと少ない)もらえないが、かなりの減収で困っている。動線分離の為の設備投資の資金を出せず長野県にはクリニックへの給付もない為、借り入れを増やす以外方法がない。
22. 暇で困った。
23. 衛生材料の確保(価格の安定化)、増大した費用の補填を。
24. マスク、消毒液、納入価の高騰。
25. マスク(N95)防護服、フェイスガードなどの感染予防、備品の不足(入手不能)は重大な事態だと感じる。PCR 検査を増やすこと。
26. どうにもならん
27. コロナに対する過剰な不安を持つ人が目立ちます。抗体検査を希望する人もいるので、保険適応になればいいのでは。外来数、収入の減少はショックではありますが、飲食店に比べればまだ恵まれていると思います。
28. コロナウイルス感染しないための免疫力強化等の方法の啓蒙が必要だと思います。

29. コロナ＋インフルエンザの重複期間の診療所レベルにおける対応に考慮している。何か提案して下さい。
30. この時期なのでこの先を考え、感染症の診察用に別室を作りました。補助とかお願いできると助かります。
31. この時期だからこそ患者さんも数ある医療機関を見極めると思っている。自然に”淘汰”が発生するのも仕方ないと思う。
32. このまま減収が続いていくと、地域の医療を守っていくことが困難になる恐れがあります。診療報酬体系の見直しを考えていただきたいと思います。
33. いろいろ不満、要望ありますが、我々だけの業種が大変なわけではなく、特に当地は観光地のため周りの業種は悲惨な状況です。でもスタッフにボーナスが出せません。
34. アルコール消毒がなかなか手に入らなかった。高価なアルコールを購入した。
35. PCR 検査体制の拡充
36. 6月中旬に入り、少しずつ受診者数が増えてきました。しかし、助成をお願いしたいです。
37. 50%以上の減少はありえない。感染防止対策をする資金がない。借金をしてまでしたくない。発熱患者は診ない、一時的に閉院する、くらいの方法しかない。中途半端な対策をして感染し、死ぬことは避けたい。ヒトの命を大切にしない、ゴミ袋を着てボロボロになっていく医療者に対して何もしない、国はそういうものと思っていたが、やはりそうだった。
38. 第2波以降の感染症(風邪やインフルエンザを含め)に対応不可。海外からの渡航制限の必要性が高い。新型コロナウイルスの中で国籍不明者の詳細の公表が必要。
39. 病院やクリニックを受診するとコロナになる心配があるというイメージをなくしていく必要があると思います。

#### (歯科)

1. 第2次補正予算できた感染対策給付が早くほしい。
2. 唾液による飛沫感染(エアロゾルを含む)と咳や鼻汁(くしゃみ)による飛沫感染では発症率などが異なるのでしょうか？ 歯科医療から感染が広がったという事項は聞いておりませんが。
3. 消毒用エタノール、グローブがこの先を考えると十分ではない。市内で感染者が出た時は、キャンセルが2割くらいあった(2週間くらい)
4. 収入減が一番困っています。待合室が少しせまいので密にならないように予約を制限しなければなりません。早くおさまってほしいと願うばかりです。グローブが不足しがちで不安です。
5. 次亜塩素酸水噴霧が否定的な報道がされてしまい、使用していいのか悪いのか、
6. 仕事をやめたい。閉院したい。
7. 今後、基本料金未納の方などが出て来るのが心配です。すでに支払いをのばして欲しい。という方もいらっしゃいます。
8. 現在のところ特にない。緊急事態宣言が解除されて全国規模の移動が再び始まります。第2波が来る日は近い！！それが心配。Krさんが困る→診療困難→医院の経営↓
9. 先ずは、全国民の平等な支援を！！ですかね
10. 経営が心配

11. 感染予防の時間が倍になり疲れる。衛生用品の値上げが痛手になっている
12. 感染防止対策の時間と消耗品が非常に多くかかる。補助金があると助かる。受診抑制の風評が多少ある。訪問診療がようやく注意深く再開しつつある。
13. 感染防護具の不足→ひとたびこのような事態になるとすぐに品薄になる点が心配
14. 感染対策のため予約時間を従来の2倍確保している。今まで30分のところ1時間。無断キャンセル、当日・前日キャンセルが非常に経営を圧迫する(迷惑)。宿泊・飲食業のようにキャンセル料が発生する点数改正にならないか、と思っている。
15. 感染対策のための非接触体温計や N95 のマスクなど、個人で探し手配する労力は大きい。何とか団体として入手しやすくなるようにしてほしい。対策にかかる費用など今後も歯科は大きいので保険点数を盛ってほしい。
16. 医療スタッフや介護職は政府の責任で定期的な PCR 等の検査を行って感染していないかの確認をして欲しい
17. より一層の感染防御体制への器材、器具、薬品 etc の補助をお願いしたい。
18. マスク、アルコールが不足・高騰してしまったが今はおちついた。受付にアクリル板設置等大変だった。
19. テナントの先生、開業間もない先生は大変だと思う
20. アルコール、グローブの経費増に耐えられない
21. 6月に入り徐々に回復しています。消毒用アルコールの品不足には困っています